

10km 格子と 60km 格子の O₃ 濃度再現性の比較

1. モデルのバリデーション

1.5. 10km 格子と 60km 格子の O₃ 濃度再現性の比較

1.5.1. 解析の目的

東アジア領域の格子間隔（60km）と関東領域の格子間隔（10km）による O₃ 濃度の再現性について検討した。

1.5.2. 解析方法

久我山（東京都杉並区）、衛生研究所（埼玉県さいたま市）および群馬県太田市立中央小学校（群馬県太田市）について、東アジア領域および関東領域の CMAQ の計算結果を対象に該当するメッシュデータを抽出し、経過図を作成するとともに精度評価指標（NB、NGE および MPA）による評価を実施した。

1.5.3. 解析結果

O₃ 濃度の経過図を図 1-1～図 1-3 に示した。また時間別平均値を図 1-4 に示した。**エラー! 参照元が見つかりません。**～**エラー! 参照元が見つかりません。**に各地点の月平均値、日最高値の月平均値および精度評価指標による評価値を整理した。また、**エラー! 参照元が見つかりません。**に精度評価指標の比較図を示した。

杉並区久我山

2009 年

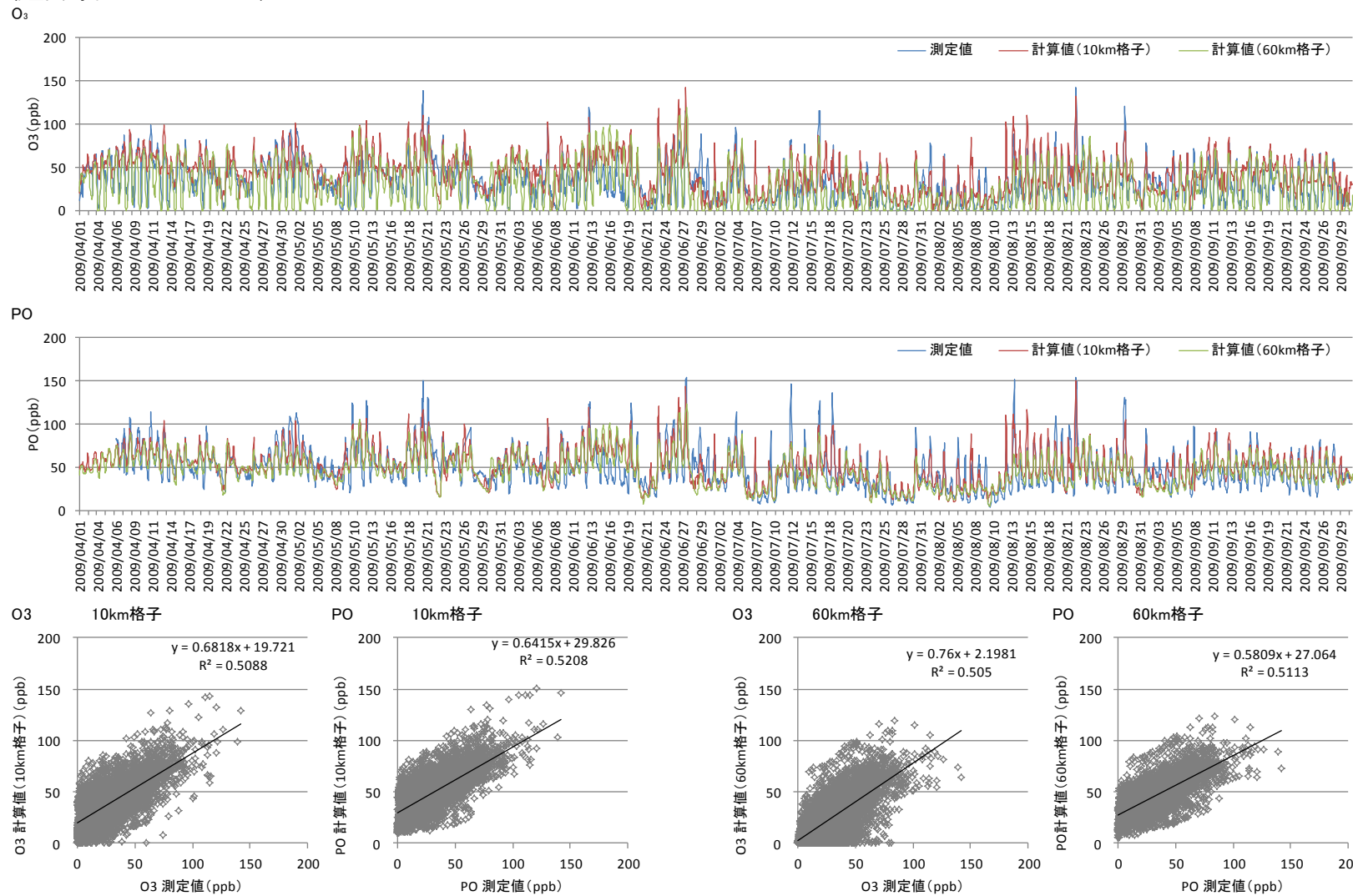


図 1-1 O₃濃度の経過図 (10km 格子と 60km 格子の比較 杉並区久我山)

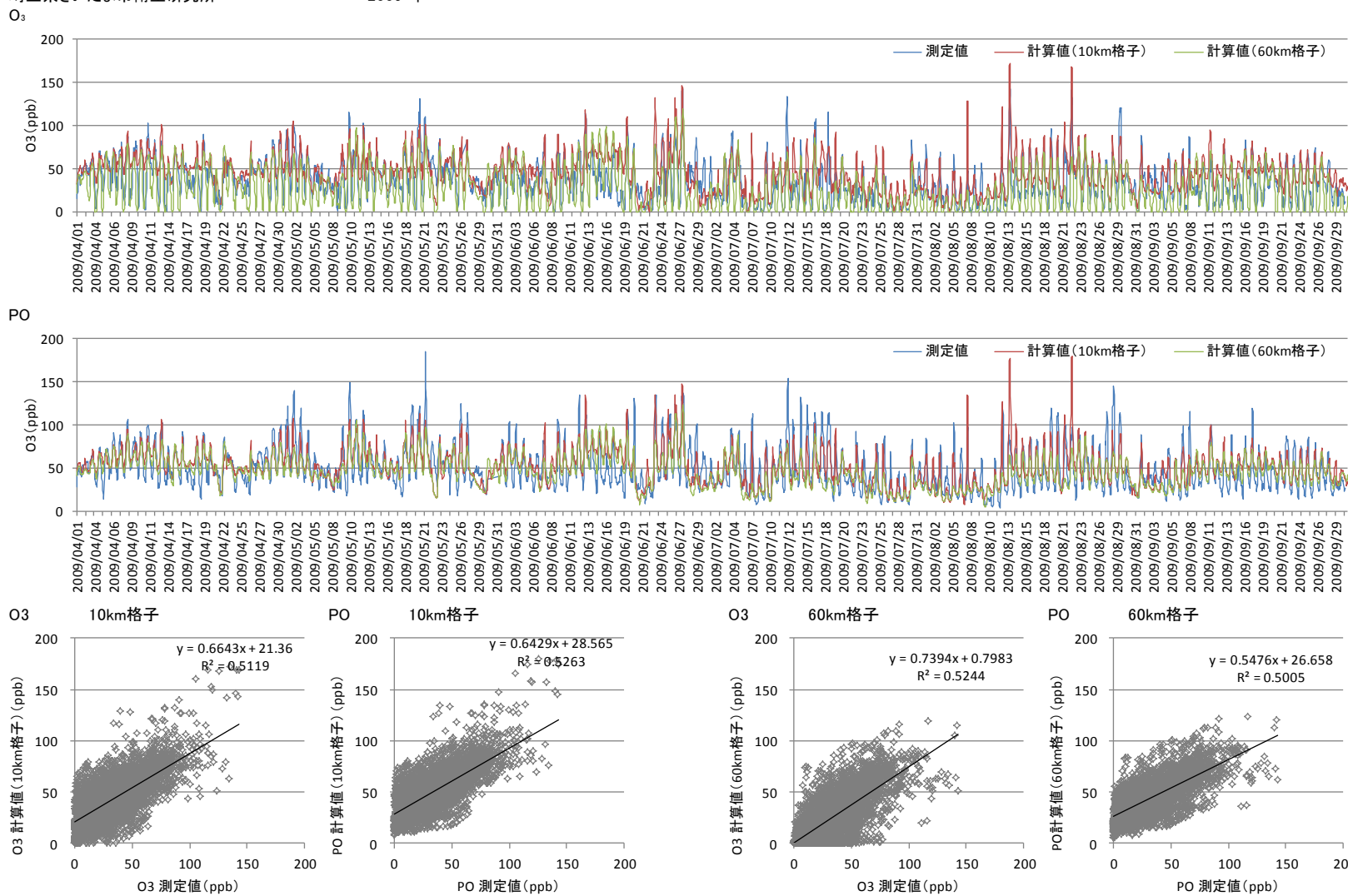


図 1-2 O₃濃度の経過図 (10km 格子と 60km 格子の比較) さいたま市衛生研究所

群馬県太田市立中央小学校

2009

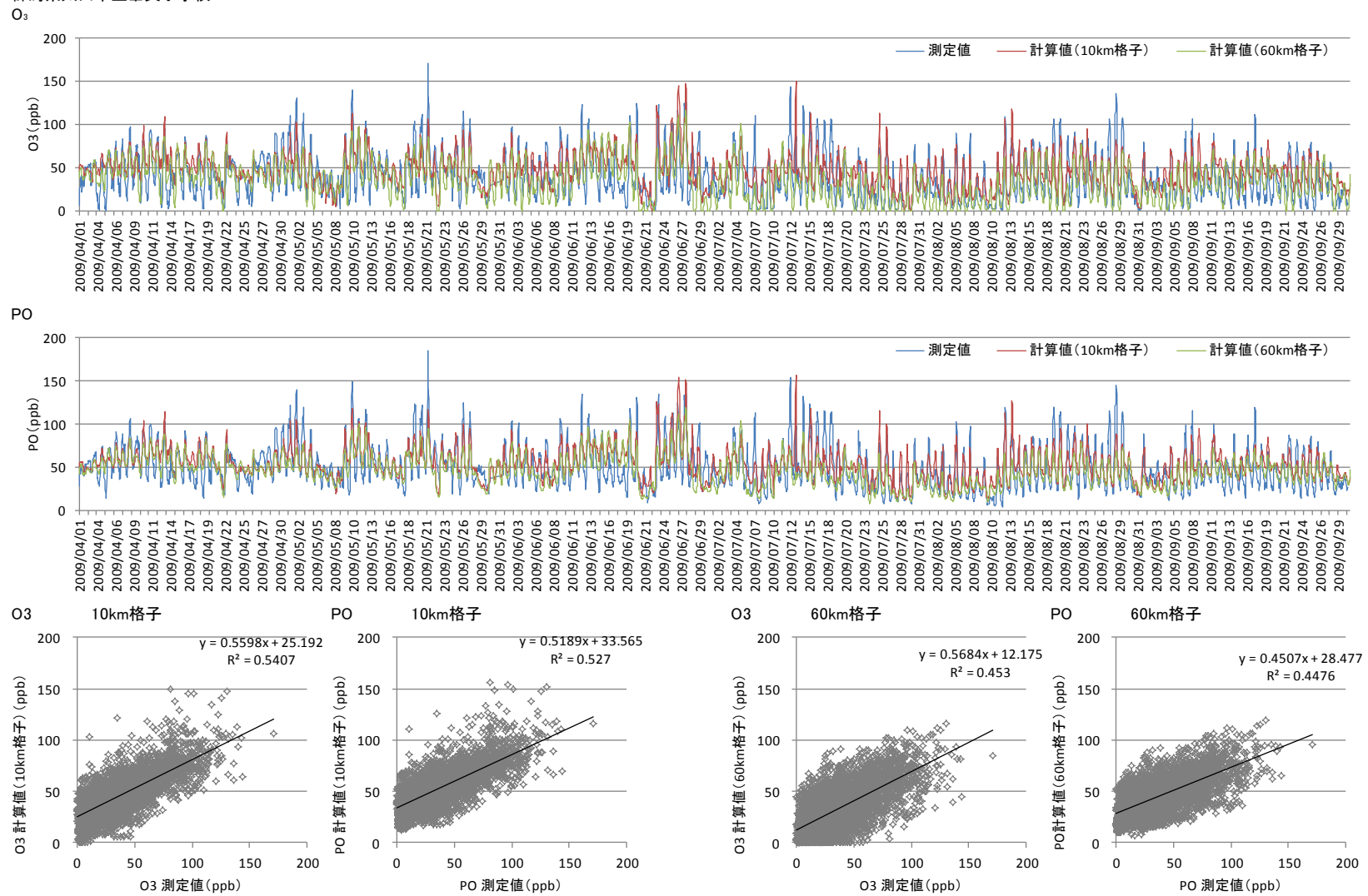


図 1-3 O₃濃度の経過図 (10km 格子と 60km 格子の比較 群馬県太田市立中央小学校)

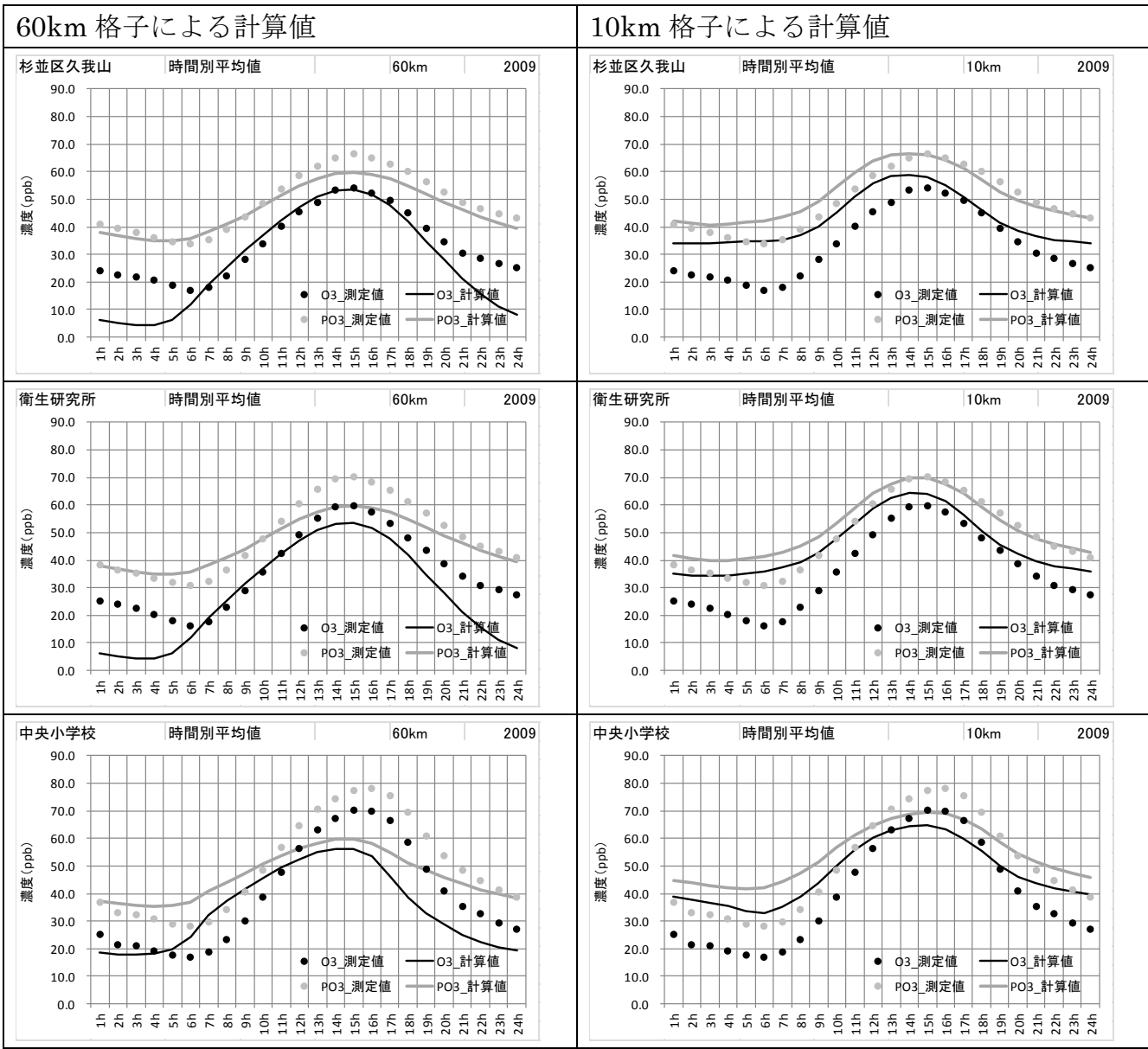


図 1-4 時間別平均濃度 (10km 格子と 60km 格子の比較)